



地元地域の過去現在を知り、 未来について考える

山口 紗桜 (高校2年生：静岡県)

地元地域の現状を理解し、未来を考えた事はあるでしょうか？

地元地域の事を考え、創るのは政治家や公務員を含めた一部の大人や学生の方々が主だと思います。現在、私達の住む県や市町村では大人の方々が地方の過疎化問題の解決に務め、そこに暮らす住民が安心安全で過ごせる将来を創る為、多くのアイデアを考えてくれています。

ここで問題なのはこういった地域の問題に対し、考え行動する若者が少ないということです。そうした事から、現在、少子高齢化から始まり、高齢者の孤独や孤立、地域社会が抱える過疎化と言った社会問題について、まずは多くの若者に知って頂く為に「みらいづくり」というスマホ（アプリ）ゲームを提案します。

内容は、日本を舞台に、プレイヤーが都道府県、更に市町村を選択。選択した地域が始まりのマップとなります。

例えば東京都の中央区を選んだとしてその場所の様々な社会問題がクエストとして発生します。クエストをクリアする為に街の人に相談したり、自分で考えコンプリートを目指します。そして、その場所の地元名所や観光名所はダンジョンとなっており、その場所ゆかりの人物や歴史がエネミーとして出現、関連クイズがバトルとなり、全部倒すとダンジョンクリアで経験値が入り、知識レベルがアップします。ダンジョンは初心者からマニアックまで難易度が選べたり、タイムアタックなどで全国のユーザー同士で競う事もできます。

ゲームに対し、全国各地域の観光団体が地元の情報提供を行う事で地域同士の横の繋がりが増え、地元資源のアピールによって観光客が増え、地域の魅力がより伝わります。

現在、10代20代のスマホ普及率は非常に高く、気軽にゲームとして楽しむ事が出来ます。

自分の住む地域に興味と誇りを持ち、地元の為に出来る事を考え、行動する意欲が湧くのではないのでしょうか。

地方の抱える社会問題解決への第一歩となる、そんなゲームを私は提案します。